

SHIBATA

住んで安心！レジャーも充実！ しばたの住環境



日々の生活もしばたにおまかせ♪ ショッピング



イオンモール新発田

市中心部には多くの商業施設があり、ショッピングが楽しめます。スーパーやコンビニも充実しており、生活するには最適な環境です。



コモタウン



家族でも遊びにいける スポットが沢山♪ レジャー・スポーツ

夏は藤塚浜海水浴場で海水浴、滝谷森林公園でBBQなどレジャー施設がたくさん。冬は二王子岳にある二ノックススノーパークでウィンタースポーツも楽しめます。四季を通して遊べる施設がたくさんあります。



藤塚浜海水浴場



滝谷森林公園



二ノックススノーパーク



休日はゆっくり温泉でリフレッシュ！ 温泉

「美人になれる温泉」「不老長寿の湯」として、県内外の多くの皆さまに親しまれている月岡温泉をはじめ、城山温泉や紫雲の郷など、ちょっとした疲れを癒やしに気軽に温泉へ行けます。

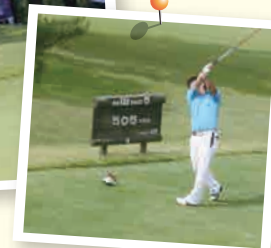
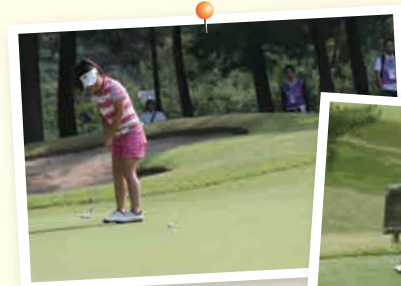


月岡温泉



車でフラッと行けるゴルフ場が5つも！ ゴルフクラブ

市内に5つものゴルフクラブがあり、休日にはたくさんの人が利用しています。



いざとなったとき安心！ 各種医療機関

総合病院である新潟県立新発田病院や北越病院をはじめ、市内に86件の医療機関（平成27年4月現在）が所在しており、急な病気や怪我の際も安心です。



01. 充実のビジネス環境

新発田ってどんな所？

充実の鉄道網・高速道路網

02. 安定した産業基盤

働き手に困らない

雪は予想以上に少ない

都市ガス料金も割安

コラム「水」に自信あり！（新発田食品工業団地）

03. 活躍する進出企業の声

立地企業紹介

企業を感じる新発田の魅力



こんなに
いい場所
あったんだ！

ご存知
でしたか？

「しばた」が企業立地を選ばれる
3つのポイント

01 ご存知ですか？しばた

都内へアクセス抜群！豊富な水が育む産業都市

新発田市ってどんな所？

新発田市は越後平野の北部に位置し、県都新潟市に隣接する新潟県北部の中核都市です。

本市の北西には白砂青松と形容される美しい海岸が広がり、南東の山岳地帯には豊かな自然景觀に恵まれた磐梯朝日国立公園、胎内二王子県立自然公園があります。また、かつて東洋一といわれた堤桜を有する加治川の水系によって潤う肥沃な土地が広がっており、県内有数のコシヒカリの産地でもあります。国の重要文化財となっている新発田城や清水園等の歴史施設、月岡温泉をはじめとする温泉地等観光資源にも恵まれています。

城下町の歴史と文化、温泉、山から海までの豊かな自然など、たくさんの魅力を持つ新発田市は、「住みよいまち日本一、健康田園文化都市、しばた」を目指し発展を続けております。

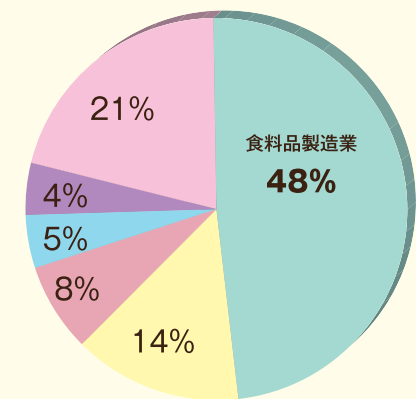


新発田市の概要			
総面積	533.1 km ² (平成 27 年 3 月国土地理院)	生産年齢人口	61,747 人 (平成 22 年国勢調査)
人口	100,077 人 (平成 28 年 2 月末新発田市)	事業所数	4,433 カ所 (平成 24 年経済センサス)
世帯数	35,838 世帯 (平成 22 年国勢調査)	従業者数	37,839 人 (平成 24 年経済センサス)
平均気温	13.1 度 (平成 22 年気象庁)	保育園・幼稚園	33 カ所 (平成 27 年 7 月末新発田市)
年間降水量	2110.3mm (平成 22 年気象庁)	産婦人科	4 カ所 (平成 27 年 7 月末新発田市)
平均年齢	47 歳 (平成 22 年国勢調査)	小児科	13 カ所 (平成 27 年 7 月末新発田市)

新発田市の製造業の特徴は？

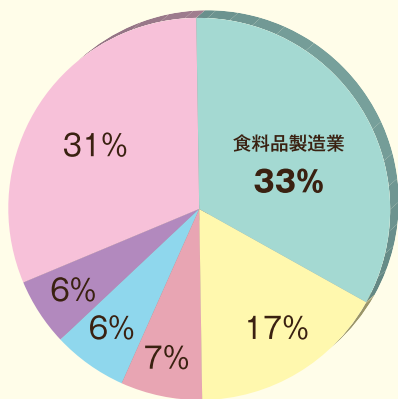
良質な水は食料品製造、電子部品・デバイス製造など、多くの製造業にとって欠かせないものとなっています。新発田市には、加治川水系による良質な水が豊富にあり、特に「食料品製造業」の割合が48.4%と新潟県全体の16.0%よりも大きく上回っています。

《製造品出荷額割合》



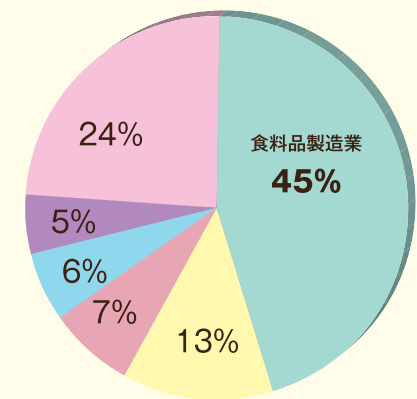
- 食料品製造業
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- 化学工業
- 生産用機械器具製造業
- 窯業・土石製品製造業
- その他製造業

《事業数割合》



- 食料品製造業
- 繊維工業
- 金属製品製造業
- 生産用機械器具製造業
- 窯業・土石製品製造業
- その他製造業

《従業員数割合》

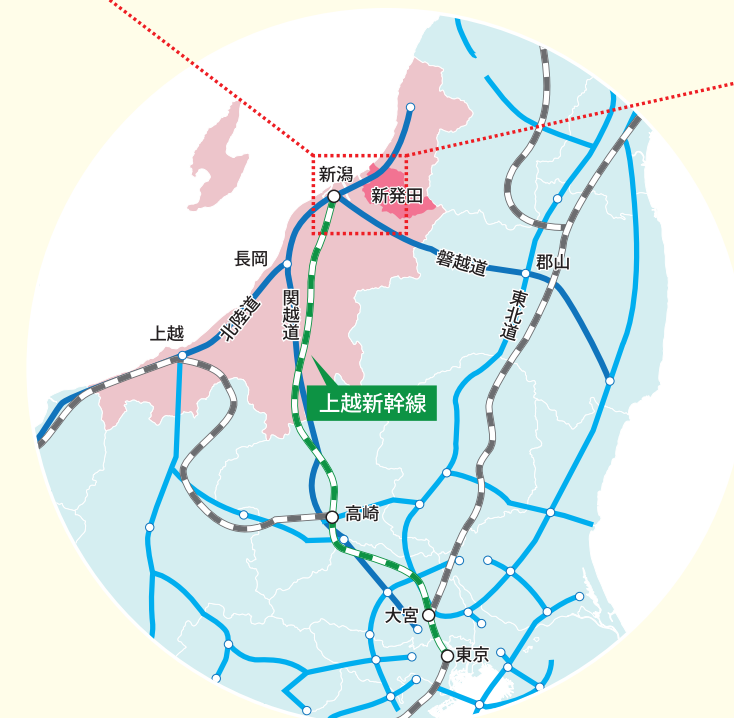


- 食料品製造業
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- 繊維工業
- 窯業・土石製品製造業
- 生産用機械器具製造業
- その他製造業

出典：平成 25 年工業統計調査

充実の鉄道網・高速道路網

新発田市は関東や北陸をはじめとする全国への鉄道網や高速道路網が整備されているとともに、環日本海の物流の拠点である新潟東港まで車で約20分、新潟空港へは約30分と充実した交通ネットワークを有しています。また、自動車専用道路である新新バイパスによって、新潟市へも約30分でアクセス可能です。



高速道路

関越・北陸道で東京(練馬 IC)まで



約 4 時間 (約 300km)
新潟県内には関越自動車道・磐越自動車道・北陸自動車道が通っており、隣県へのアクセスはもちろん首都圏へのアクセスも便利です。

新幹線

上越新幹線で東京まで 約 2 時間



東京-新潟間を最短1時間40分で結び、人の移動はとてもスムーズです。本数も多く首都圏と密接なアクセスが可能です。

02 実はすごいぞ！しばた

企業の長期的な発展を支える安定した産業基盤

働き手に困らない！

新発田市には、敬和学園大学、新潟職業能力開発短期大学校や六つの高等学校があり、その内三つの高等学校では工業系や商業系、農業系の専門的な知識と技術を有する多数の優秀な人材を育成しています。また、通学圏内においても、新潟大学をはじめとする数多くの教育機関があります。

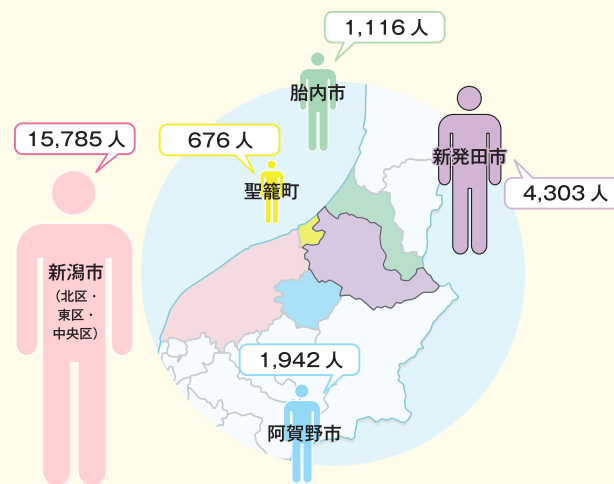
豊富な高等教育機関（H27年5月現在）

出典：各校ホームページ

	学校名	学部・学科	生徒数
新発田エリア	敬和学園大学	人文学部	621人
	新潟職業能力開発短期大学校	生産技術科、電気エネルギー制御科、電子情報技術科、住居環境科	155人
	新発田高校	普通科、理数科	881人
	新発田南高校	普通科、機械工学科、建築工学科、土木工学科、電子情報工学科	951人
	新発田商業高校	商業科、情報処理科	622人
	新発田農業高校	生物資源科、環境科学科、食品科学科	596人
	西新発田高校	普通科	359人
	新発田中央高校	進学コース、総合コース	625人
近隣エリア	新潟大学	人文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、工学部、農学部	10,317人
	新潟県立大学	国際地域学部、人間生活学部	1,085人
	新潟国際情報大学	情報文化学部、国際学部	1,221人
	新潟医療福祉大学	医療技術学部、健康科学部、社会福祉学部、医療経営管理学部	3,715人
	新潟工業短期大学	自動車工学科	184人
	私立専修学校	43校（新潟市、阿賀野市、聖籠町）	—

新発田市周辺若年労働人口（15才以上25才未満）

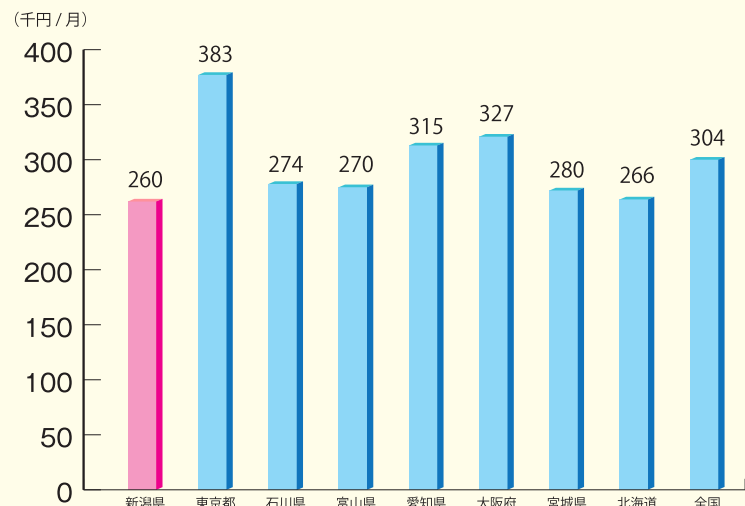
新発田市の通勤圏内には、多くの若い人材が暮らしています。隣接する市町から通勤している方も少なくありません。



出典：平成22年国勢調査

一般労働者平均賃金

新潟県の平均賃金は東京都の約7割、全国平均の約9割となっており、他県よりも安く労働力の確保が可能です。



出典：平成27年賃金構造基本統計調査



地域の産業を支える専門高校

高い技術力

市内の専門高校（工業、農業、商業）は、地域へ即戦力としての人材を供給しています。新発田南高校は、機械工学、建築工学、土木工学、電子情報工学の4科を設置し、「全国ものづくりコンテスト」で優勝するなど、高い技術力を身につけた若者が育っています。新発田農業高校は、生物資源、環境科学、食品科学の3学科を設置し、地域産業（農業）の10次産業化への取り組みを学習するとともに、地域創生に貢献できる人材の育成を図っています。新発田商業高校では、「楽天IT学校」に参加し、電子取引の実践を学んだ人材が育っています。

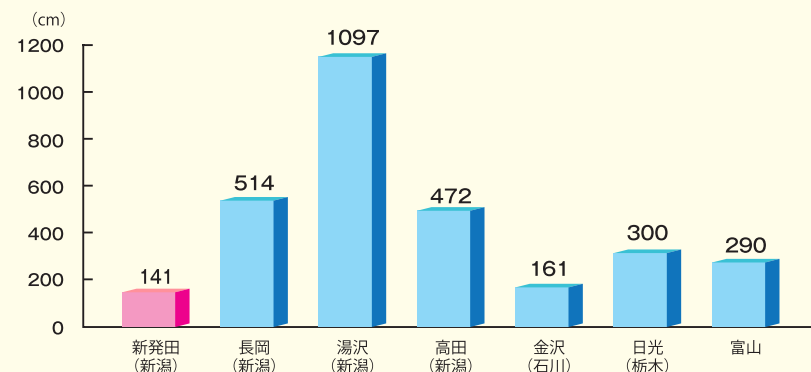


雪は予想以上に少ない！

新潟県という「雪国」「豪雪地帯」というイメージを持たれがちですが、近年は小雪傾向にあり平野部の降雪量はそれほど多くありません。新発田市の市街地や各工業団地は海から続く平野部に位置しており、山岳部からも離れているため冬に雪が毎日降るということはありません。

各都市の年間降雪量

出典：気象庁（2005年～2015年の平均値）



雪が降っても問題なし！

雪が降って交通マヒなんてことは新発田市では起こりません。除雪機能がしっかりと整っており、雪が降った際には消雪パイプや除雪車が素早く対応し企業活動や市民生活に支障をきたすことはありません！

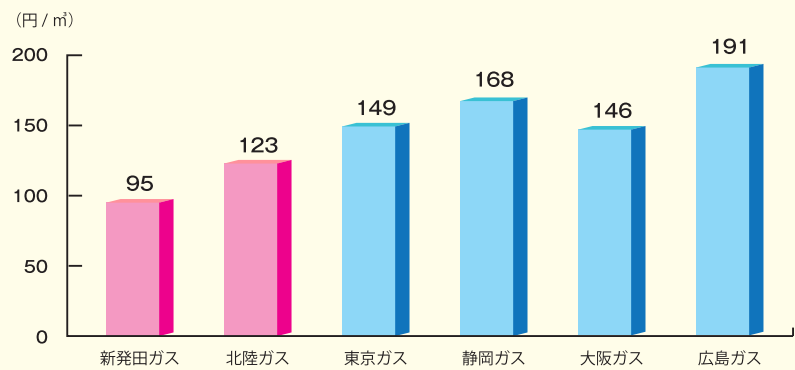


都市ガス料金も割安！

新潟県の天然ガス生産量は全国の約70%を占めているため、都市ガス料金も全国に比べ割安で使用していただくことが可能です。

都市ガス認可・届け出料金平均単価

出典：平成26年版ガス事業便覧…小口料金



新発田ガス（株）球形ガスホルダー「ニコタン&モモタン」

コラム

Q. なぜ食品工業が多いの？

A. 答えは工業用水の安定供給！

工業用水は「産業の血液」とも言われ、企業の生産活動に欠かすことのできない重要な産業インフラです。新発田市は加治川を水源とし、良質で豊富な水が新発田市全域をカバーしています。



加治川の清流



新発田食品工業団地協同組合専務理事 宮村康民さん

上水道に比べて半額以下で利用できる

新発田市の工業用水の特徴はなんといっても安価で利用でき、安全だということです。価格は上下水道の半分以上（1トンあたり82円※2016年現在）で利用でき、水質基準項目の基準値も問題なくクリアしております。また管理体制もしっかりしておりトラブル等で水が24時間止まることはありません。水温に関しても地下水を利用しているため年中安定して14度前後を維持しており、現在進出している企業様からとても良い評価をいただいております。

水に関する心配は無用

企業立地の際、近隣住民との交渉や、新発田市とのやり取りなどは全て組合がやっておりますので、水に関する心配は全く必要ありません。食品工業で欠かせない要素である「水」には絶対の自信を持っております。各企業が製造に専念できるよう組合側も全力でサポートいたしますので安心して新発田食品工業団地へお越しください！

03 やっぱり良かった！しばた

実際に進出し活躍している企業の声

新発田市の工業団地の魅力は優れた交通アクセスや豊富な人材、優遇措置、住環境など数多く上げられます。実際に新発田で経営されている企業様にその魅力をお伺いしました。立地を検討されている皆さまのご参考にして頂ければ幸いです。

日東アリマン株式会社



地元の恵みが大きな支えになる

弊社はもともと果物の缶詰加工業として、昭和 35 年に山形県天童市で産声をあげました。しかし色々ありまして工場建設がすぐには出来ず、1 年が過ぎようかという頃に、こちらの新発田市からの誘致を受け、現在の第一工場の地（新発田市下内竹）に工場を構えて操業を始めることになりました。この頃この周辺にはサクランボ畑が広がってしまてね、そのサクランボの加工が出来るということで来たわけです。ところが操業を始めてわずか 3 ヶ月後、第 2 室戸台風の被害を受け、そのサクランボ畑が壊滅状態になってしまったんです。

大きな魅力だったサクランボが手に入らなくなり途方にくれたわけですが、その後、弊社の大きな発展のきっかけになったのもまた、地元の恵みでした。当時この周辺では養鶏が盛んでしたので、この鶏肉を使って何かできないか？と考え、研究開発繰り返し、「丸美屋とり釜めしの素」「丸美屋の麻婆豆腐の素」が生まれました。このロングセラー商品はこの新発田の地から生まれたんですよ。

米・農産物・水産物…ここは多くの食材がそろう地

この「とり釜めしの素」もそうですが、原材料となるものが、ここ新潟には豊富にあります。特にお米は日本一の作付面積を誇り、加工品にも回せる余剰が出ます。なので、米菓や切餅などの加工品の生産も昔から盛んなですね。弊社でもこの工業団地での操業を開始した頃から、本格的に米飯製品の開発を始め、レトルト米飯・無菌米飯を完成させ、今ではこの延長で医療食の開発に取り組んでいます。

海・山・川、そして豊かな水の源となる雪…。新潟の豊かな自然が作り出す、豊かな食材がここにはあります。これらがすぐ手の届くところにある。新発田市で食品会社を運営する上で、これはひとつの魅力だと思いますね。

食品会社にとっての生命線「水」が豊富にある

「新発田食品工業団地」のすぐそばを南から北へ流れる加治川は、新潟・山形・福島 の 3 県にまたがる飯豊連邦を水源とする、水質も良く、水量も豊富な川です。この川を水道水源としている新発田市ですから、とにかく水が豊富で美味しいわけです。「水」が良質で豊富なこと。これは大きいですね。特に我々のような食品会社にとって「水」は生命線とも言えるものですから、この点は、多くの企業さんにとって安心材料になるのではないのでしょうか。

レジャーにも困らない住みやすいまち

海も山も、冬にはスキー場も車で 30 分もかからずに行けますし、新発田市内に病院もショッピングエリアも充実していますので、従業員が住むまちとして困ることはありません。弊社にも県外からの就職者が毎年いますが、このまま新発田に定住する人も少なくありません。そうそう、温泉もありますしね（笑）。

日東アリマン株式会社 代表取締役社長 吉原堅道さん



株式会社 宮野食品工業所



城下町に息づく「人情」という名の「人材力」

我が社は元々「宮野製館所」として新発田城下の御菓子屋さんに、あんこを作って納める仕事をしていました。しかし時代は移り変わり、御菓子屋さんも徐々に少なくなり、「これからどうやって地元を支えていこうか？」と考えた時に「そうだ、地元の豊かな農産物を使った商品を作り続けよう」という思いが生まれました。この思いを元に、今では主力の豆をはじめ、地元の農家さんが作る美味しい食材を使ったお菓子や、地域の方々と連携して開発した商品など、様々な取り組みが生まれています。形は変わりましたが「地元にかける思い」は、昔も今も我が社に息づいています。

そんな我が社を支えてくれているのも、やはり地元の人たちです。困った時は助けてくれる、「ああ、ここのは宮野さんのところだったのね。美味しいはずだわ。」と言ってくれる、作り手の顔とストーリーが見える商品が生み出すつながりは、やっぱり嬉しいですね。そしてやはり人材も優秀です。みんな真面目で、よく働きます。「人情」というんでしょうかね、困っているときは助け合う、そんな関係性が自然と生まれているような気がします。

こんなチームワークのいい組合は他にない

8 年前から所属している「新発田食品工業団地協同組合」ですが、こここのチームワークの良さには本当に驚かされます。同じ食品業界の製造業者の集まりですが、お互いにライバル視することは全く無く、助け合いの精神が息づいています。我々のような小さな会社にも、大手の会社さんから学ばせていただける機会が多くありますし、年々来場者が増えている「食品団地 DE 春まつり」の賑わいを見ると、その関係性の良さが見てとれると思います。なかなか無いですよ、これだけのチームプレイが出来る組合は。

行政との近さも魅力のひとつ

全国でも珍しい「食品工業団地」ですが、新発田市も熱心にサポートをしてくれます。情報提供も早く、頻繁に連絡をくださるので「安心感」があります。行政との関係が近いのも、新発田市の工業団地の魅力のひとつだと思いますよ。「お互いが協力し合って地域を作っている」いい関係ですね。

実は新潟の物流技術もスゴイ

実は業界内では有名な話なんですけど、「雪が降っても新潟の物流だけは遅れずに届く」という話があります。物流業者さんの技術力・経験値がスゴイですね。他の地域は雪が降れば当然のごとく遅れますが、新潟の物流業者さんは、ちょっとやそっとの雪じゃ遅れませんよ。これも隠れた魅力のひとつだと思いますね。

共に地域から愛される会社

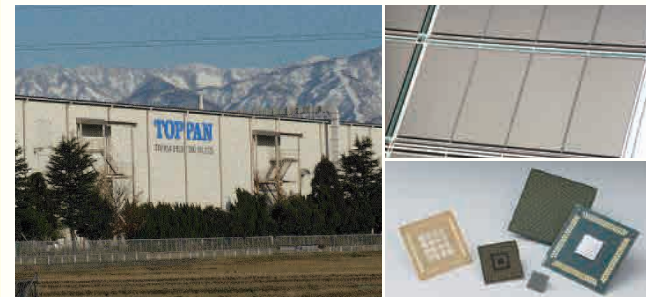
新発田市の工業団地に立地すると、あなたの会社も「地域に愛される会社」になるはずですよ。特に食品業界が扱う「食」は、地元の人に愛されて、地元と調和してはじめていいものが生み出されると思っています。ここ新発田ではその土壌が既にあります。是非ここ新発田で、地域に愛されるビジネスを展開させましょう。

株式会社宮野食品工業所 代表取締役社長 宮野紳一朗さん



新発田市の主な立地企業

TOPPAN 凸版印刷株式会社



Befco 株式会社 栗山米菓

たのしい、おいしい、あたらしい



KYOCERA 京セラ株式会社



HOKUTO ホクト株式会社



もっと知りたい方はホームページにアクセス！
新発田市企業立地 PR サイト



なんでも
ご相談
ください！

【お問い合わせ先】新発田市 商工振興課 工業振興係
TEL：0254-22-3101 FAX：0254-26-8821
Mail：shoukou@city.shibata.lg.jp